

令和元年 9 月 11 日

名古屋教育医療記者会各位

名古屋市立大学芸術工学部事務室

事務長 木村 充江(電話:721-1225)

(名古屋市政記者クラブ・中部芸術文化記者クラブと同時発表)

**文化庁平成 31 年度大学における文化芸術推進事業**  
**未来につなぐヘルスケア・アートマネジメント人材育成事業**  
**ヘルスケア・アートマネジメント国際シンポジウムの開催について**

テレビメディア等でも取り上げられ、近年”ヘルスケアアート”への関心が高まっています。

本シンポジウムでは、この分野で先進的な取り組みがなされているイギリスのアートマネジメントの歴史や、チャリティ財団による医療施設における活動を知り、内外における最新情報の交換の機会とすべく、10 月 12 日(土)には名古屋市立大学病院、10 月 14 日(月・祝)には東京国立近代美術館の 2 会場で、英国から専門家を招聘した国際シンポジウムの開催を予定しております。

つきましては、是非、ご取材くださいますようよろしくお願いいたします。

本事業は、名古屋市立大学より文化庁の「平成 31 年度大学における文化芸術推進事業」に応募し、「未来につなぐヘルスケア・アートマネジメント人材育成事業」が昨年度に引き続き採択されましたもので、社会的包摂の視点から、医療福祉施設などヘルスケアの現場におけるアートの必要性・有用性の啓発とともに、アートマネジメントのできる人材育成や組織構築の基盤づくりをしていくものです。名古屋市立大学では、医療系・人文社会系・芸術工学系を擁する人材と、20 年以上にわたる芸術工学部でのホスピタルアートの実績を活かし、幅広く関連機関・NPO 等と連携し、アートによる医療福祉環境の向上を目指します。

<b>なごやヘルスケア・アートマネジメント 国際シンポジウム</b>	
<b>「英国の先進事例に学ぶヘルスケアアートとそのマネジメント」</b>	
○名古屋会場	日 時 : 2019 年 10 月 12 日(土) 13:00 - 17:00 (開場 12:30) 場 所 : 名古屋市立大学病院 中央診療棟 3 階大ホール(名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1)
○東京会場	日 時 : 2019 年 10 月 14 日(月・祝) 13:00 - 17:00 (開場 12:30) 場 所 : 東京国立近代美術館地下 1 階講堂(東京都千代田区北の丸公園 3-1)
○その他	入場無料、要事前申込み(HP 申込みフォームおよび FAX)、名古屋会場定員先着 300 名(申込締切 10/10)、東京会場定員先着 130 名(申込締切 10/7)、講演は通訳付き、東京会場は東京国立近代美術館との共催。(※東京会場は定員に達した為、受付停止しました)
○内 容	日本と同じように高齢化が進み、医療費削減が大きな課題となっているイギリスでは、その対策のひとつとしてアートが活用されています。病院や福祉施設にさまざまなアートが導入され、その効果を実証する調査・研究も進んでいます。本シンポジウムでは、ヘルスケアアートの先進国イギリスから二人の専門家をお招きし、病院における具体的な事例や、国の施策やシステムについて話をうかがいます。 ※英国人講師による講演内容は 2 会場どちらも同じです。

<p>○ 講師 「講義テーマ」</p>	<p><b>Trystan Hawkins トリスタン・ホーキンス</b> Arts Director/Director of Patient Environment. CW+CW+ アートディレクター/療養環境ディレクター※CW+ は Chelsea and Westminster Hospital のチャリティ財団 「英国の医療アートディレクターの役割」 ※NHK クローズアップ現代+「世界が注目！アートの力 健康・長寿・社会が変わる」に出演</p> <p><b>Damian Hebron ダミアン・ヘブロン</b> Programme Manager in Nesta's Health Lab ネスタ財団 健康研究所プログラムマネージャー 「英国における医療とアート」</p>
<p>○ コーディネーター</p>	<p>阿部 順子（椋山女学園大学生生活科学部 生活環境デザイン学科 准教授）</p>
<p>○ パネリスト</p>	<p>鈴木 賢一（名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 教授） 加藤 敬（東京国立近代美術館 館長）※10/14 のみ</p>

【お問い合わせ先】

〒464-0083 名古屋市千種区北千種 2 丁目 1-10

名古屋市立大学 芸術工学部事務室学務係

電話：052-721-1225

FAX：052-721-3110

E-Mail：healthcare\_art@sda.nagoya-cu.ac.jp

え！これが  
病院？

療養環境をより快適にするために、アートの力が注目されています。日本と同じように高齢化が進み、医療費の削減が大きな課題となっているイギリスでは、その対策のひとつとしてアートが活用されています。病院や福祉施設にアート作品やデザイン、音楽やダンスなどのパフォーマンスが導入され、その効果を実証する調査・研究も進んでいます。また、国としてヘルスケアにアートを積極的に取り入れるしくみが背景にあります。

このシンポジウムでは、ヘルスケアアートの先進国イギリスからお二人の講師をお招きし、病院における具体的な事例や、国の施策やシステムについて話をうかがいます。

もっと

# アートで病院を元気に!!

国際  
シンポジウム

Healthcare Art  
Management  
International Symposium

## 英国の先進事例に学ぶ ヘルスケアアートとそのマネジメント

2019年10月12日(土) 13:00-17:00

名古屋市立大学病院 中央診療棟 3階大ホール



上 Chelsea and Westminster Hospital, Radiance 2019 Artist Adam Furman  
左 Chelsea and Westminster Hospital, Stones against diamonds 2019 Artist Isaac Julien  
中・右 Cambridge University Hospital



なごやヘルスケア・アート  
マネジメント推進プロジェクト

# 国際シンポジウム

International Symposium

入場無料・要申込

定員先着 300名

# 英国の先進事例に学ぶ ヘルスケアアートとそのマネジメント

2019年10月12日[土] 13:00-17:00 (開場 12:30)

名古屋市立大学病院 中央診療棟 3階大ホール



## Trystan Hawkins トリスタン・ホーキンス

Arts Director/Director of Patient Environment. CW+

CW+ アートディレクター/療養環境ディレクター

CW+ は Chelsea and Westminster Hospital のチャリティ財団

## 英国の医療アートディレクターの役割

Trystan Hawkins is responsible for leading the vision for arts and design for CW+ in order to provide a first class environment for every one using the hospital. CW+ has won many awards for its work in providing outstanding healthcare environment and is a leading in this field. He has led numerous visual arts organisations, most recently the Royal Academy of Art (Bristol). He has a particular interest in the built environment and the impact of excellent design on the patient experience and clinical outcomes. He studied Design and Fine Art. トリスタン・ホーキンスは、病院を利用するすべての人にファーストクラスの環境を提供するため、CW+ のアートとデザインの方針を主導する職務に就いています。CW+ は、卓越したヘルスケア環境を提供することで多くの賞を受賞しており、この分野をリードしています。彼は多くの視覚芸術団体、最近では王立芸術アカデミー(ブリストル)を率いてきました。構築された環境とすぐれたデザインが患者の体験および臨床に及ぼす影響に特に関心を持っています。



## Damian Hebron ダミアン・ヘブロン

Programme Manager in Nesta's Health Lab

ネスタ財団 健康研究所 プログラムマネージャー

## 英国における医療とアート

Damian Hebron is Programme Manager in Nesta's Health Lab, leading on the organization's work in arts and health as well as managing the Social Movements for Health programme. He was Director of London Arts in Health Forum (LAHF) – a leading UK organization. He has worked in the arts for over 20 years, originally focusing on community theatre and participatory arts. He has a degree in Social and Political Sciences from Cambridge University (Clare College).

ダミアン・ヘブロンは、ネスタ財団 健康研究所のプログラムマネージャーとして、アートと健康に関する組織の業務を指揮するとともに、「健康のための社会運動」プログラムにも携わっています。かつては英国の代表的な団体である London Arts in Health Forum(LAHF) のディレクターを務めていました。20 年以上アートに携わっていますが、もともとはコミュニティシアターや参加型芸術に焦点を当てていました。ケンブリッジ大学で社会政治学の学位を取得 (クレア大学)。



上 Chelsea and Westminster Hospital  
下 Cambridge University Hospital

## コーディネーター 阿部 順子

椋山女学園大学生生活科学部  
生活環境デザイン学科  
准教授



※ ホール内での飲食はご遠慮ください。  
※ 講演は通訳が付きます。  
※ 講演内容などは変更になる場合があります。

## 申込方法

申込締切 10月10日(木)

- ① ホームページの申し込みフォームから送信。  
<https://healthcare-art.net>



- ② FAX 052-721-3110 宛に次の事項を送信。

「国際シンポジウム参加希望」、お名前(ふりがな)・電話番号・メールアドレス・FAX 番号・年齢・職業・お住まいの都道府県(愛知県内の場合は市町村)

※申込期限内であっても定員を超えた際は受付を終了する場合があります。  
※お申込みにより取得した個人情報、本事業の目的以外では使用しません。  
※不明な点やご要望のある方はメールまたは FAX でお知らせください。



名古屋市立大学病院  
中央診療棟3階大ホール  
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1  
地下鉄「桜山」下車3番出口より徒歩約3分。  
時間外出入口からエレベーターでお越し下さい。  
※公共交通機関をご利用ください。

なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト事務局  
〒464-0083 名古屋市千種区北千種 2-1-10 名古屋市立大学北千種キャンパス内  
E-mail: [healthcare\\_art@sda.nagoya-cu.ac.jp](mailto:healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp)  
HP: <https://healthcare-art.net> FAX: 052-721-3110

大学から



平成31年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業  
未来につながるヘルスケア・アートマネジメント人材育成事業  
医療福祉施設の環境向上を支援する名古屋モデルの全国発信を目指して



もっと

# アートで病院を元気に!!



療養環境をより快適にするために、アートの力が注目されています。日本と同じように高齢化が進み、医療費の削減が大きな課題となっているイギリスでは、その対策のひとつとしてアートが活用されています。病院や福祉施設にアート作品やデザイン、音楽やダンスなどのパフォーマンスが導入され、その効果を実証する調査・研究も進んでいます。また、背景には国としてヘルスケアにアートを積極的に取り入れるしくみがあります。

このシンポジウムでは、ヘルスケアアートの先進国イギリスから二人の専門家をお招きし、病院における具体的な事例や、国の施策やシステムについて話をうかがいます。

左・中 Cambridge University Hospitals、右・下 Chelsea and Westminster Hospital

国際  
シンポジウム  
〈東京会場〉

Healthcare Art  
Management  
International Symposium

## 英国の先進事例に学ぶ ヘルスケアアートとそのマネジメント

2019年10月14日 [月・祝] 13:00-17:00

東京国立近代美術館 地下1階講堂 / 入場無料・要申込 (先着130名)

共催：なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト (名古屋市立大学内)、東京国立近代美術館

※2019年10月12日(土)には同内容のシンポジウムを名古屋で開催します。詳しくは事業のHPをご参照ください。



なごやヘルスケア・アート  
マネジメント推進プロジェクト

大学から



平成31年度文化庁 大学における文化芸術推進事業  
未来につなぐヘルスケア・アートマネジメント人材育成事業  
医療福祉施設の環境向上を支援する名古屋モデルの全国発信を目指して



東京国立近代美術館



## Trystan Hawkins トリスタン・ホーキンス

Arts Director/Director of Patient Environment, CW+

CW+ アートディレクター/療養環境ディレクター

CW+ は Chelsea and Westminster Hospital のチャリティ財団

## 英国の医療アートディレクターの役割

Trystan Hawkins is responsible for leading the vision for arts and design for CW+ in order to provide a first class environment for every one using the hospital. CW+ has won many awards for its work in providing outstanding healthcare environment and is a leading in this field. He has led numerous visual arts organisations, most recently the Royal Academy of Art (Bristol). He has a particular interest in the built environment and the impact of excellent design on the patient experience and clinical outcomes. He studied Design and Fine Art. トリスタン・ホーキンスは、病院を利用するすべての人にファーストクラスの環境を提供するため、CW+ のアートとデザインの方針を主導する職務に就いています。CW+ は、卓越したヘルスケア環境を提供することで多くの賞を受賞しており、この分野をリードしています。彼は多くの視覚芸術団体、最近では王立芸術アカデミー(ブリストル)を率いてきました。構築された環境とすぐれたデザインが患者の体験および臨床に及ぼす影響に特に関心を持っています。

NHK クローズアップ現代+「世界が注目！アートの力 健康・長寿・社会が変わる」に出演 (2018.10.17)



Cambridge University Hospitals



## Damian Hebron ダミアン・ヘブロン

Programme Manager in Nesta's Health Lab

ネスタ財団 健康研究所 プログラムマネージャー

## 英国における医療とアート

Damian Hebron is Programme Manager in Nesta's Health Lab, leading on the organization's work in arts and health as well as managing the Social Movements for Health programme. He was Director of London Arts in Health Forum (LAHF) – a leading UK organization. He has worked in the arts for over 20 years, originally focusing on community theatre and participatory arts. He has a degree in Social and Political Sciences from Cambridge University (Clare College).

ダミアン・ヘブロンは、ネスタ財団 健康研究所のプログラムマネージャーとして、アートと健康に関する組織の業務を指揮するとともに、「健康のための社会運動」プログラムにも携わっています。かつては英国の代表的な団体である London Arts in Health Forum(LAHF) のディレクターを務めていました。20 年以上アートに携わっていますが、もともとはコミュニティシアターや参加型芸術に焦点を当てていました。ケンブリッジ大学で社会政治学の学位を取得 (クレア大学)。

※ 会場内での飲食はご遠慮ください。 ※ 講演は通訳が付きます。 ※ 内容は変更になる場合があります。

[パネリスト]

### 加藤 敬

東京国立近代美術館 館長  
元文化庁芸術文化課長



### 鈴木 賢一

名古屋市立大学大学院  
芸術工学研究科 教授  
なごやヘルスケア・アート  
マネジメント推進事業  
実行委員長



[コーディネーター]

### 阿部 順子

福山女学園大学生活科学部  
生活環境デザイン学科  
准教授



## なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクトとは

「文化庁 大学における文化芸術推進事業」に名古屋市立大学から応募し採択された本事業では、社会的包摂の視点から、医療福祉施設などヘルスケアの現場におけるアートの必要性・有用性の啓発とともに、そのアートマネジメントのできる人材育成や組織構築の基盤づくりをしていきます。

医療系・人文社会系・芸術工学系を擁する名古屋市立大学の人材と、20 年以上にわたる芸術工学部でのホスピタルアートの実績を活かし、幅広く名古屋市関連機関・NPO 等と連携し、アートによる医療福祉環境の向上を目指します。詳細は事業 HP をご参照ください。2018 年度事業報告や 2019 年度事業予定なども掲載しています。

上:2018 年度 連続講座の様子  
下:2018 年度ワークショップで  
企画したダンスと会場装飾



▲ HP QRコード

## 申込方法 定員先着130名・期限 10月7日(月)

① ホームページの申し込みフォームから送信。

<https://healthcare-art.net>



② FAX 052-721-3110 宛に次の事項を送信。

「東京 国際シンポジウム参加希望」、お名前(ふりがな)・電話番号・メールアドレス・FAX 番号・年齢・職業・お住まいの都道府県

※申込期限内であっても定員を超えた際は受付を終了する場合があります。  
※お申込みにより取得した個人情報、本事業の目的以外では使用しません。  
※不明な点やご要望は HP のお問い合わせフォーム等からお知らせください。

## 会場 東京国立近代美術館 地下1階講堂

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

■ 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口より徒歩 3 分

■ 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」4 番出口、  
半蔵門線・都営新宿線・三田線「神保町駅」1A 出口より各徒歩 15 分

## 問い合わせ先

なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト事務局

〒464-0083 名古屋市千種区北千種 2-1-10 名古屋市立大学北千種キャンパス内

E-mail : [healthcare\\_art@sda.nagoya-cu.ac.jp](mailto:healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp)

HP : <https://healthcare-art.net>